

着実に進む署名運動

日本最南端の竹富町で無防備署名

無防備地域宣言 沖縄ネットワーク事務局

西岡信之さん

沖縄県八重山郡竹富町。日本の最南端、沖縄本島よりも台湾に近い国境の七つの島々からなる島しょ地域です。沖縄戦では、日本軍による強制疎開の軍命で「戦争マラリア」の凄惨な経験があります。

その竹富町で三月二十八日から「無防備平和条例」の制定をめざす署名運動が始まりました。有権者数は約三千三百。法定数は、六十七筆です。すでに法定数は突破し、有権者の過半数の千五百をめざして、署名運動は順調に取り組まれています。

八重山には、本土のような駅前もスーパーもありません。島内のほとんどが、亜熱帯原生林や畑・牧場のため、人が集まる場所もなく、すべて各戸訪問での活動です。一軒一軒、「平和がいいか戦争がいいか」と話し込みが続けられています。

いま、憲法九条が危機に瀕しています。島民一人ひとりに平和を語る運動の今日的意義は大いだと思います。八重山での沖縄戦の実相を何人もの方々からお聞きする機会もあったということです。

署名の締め切りまで、あと2週間。竹富町無防備平和条例をめざす会は頑張っています。無防備沖縄ネットも微力ながら応援を続けます。

全国の最新情報が、発信されます。

メーリング・リストに御参加下さい

手続き

全国ネットのメールアドレス
(peace@cside.to)に、簡単な自己紹介を添えてメールを送って下さい。

メールを受け取りしだい登録手続きを行い、
手続き完了のメールを返送いたします。

(御案内)

無防備地域宣言運動・・・全国ネットシンポジウム・・・

日時 6月18日(日)

場所 エル大阪(大阪府立労働センター)

京阪電鉄・地下鉄谷町線「天満橋」下車徒歩5分

パネラー 上原公子国立市長

西 晃 弁護士 他

今春、取り組まれる5自治体での直接請求署名運動の成果
を持ち寄りましょう!

国民保護法・保護計画に対する地方からの平和の対案を
発信しましょう!

(編集後記)

首都圏・沖縄での署名の取り組みの熱気が伝わってくる。市川市は、法定数を大きく上回る12000筆の署名数で最終日をむかえた。

市町村での国民保護協議会の第一回が開催されるこの時期に、議会での無防備条例制定の審議が開始される。

「国民保護法による軍の論理」を優先させるか、「人類の良識である国際人道法の住民保護」を優先させるか。

自治体の姿勢が、問われている。私たちにとって譲ることのできない「平和の内に生きる権利」を声高らかに叫びたい。

会員になって下さい。

運動の広がりには則した取り組みをする為にご協力をお願いします!!

年額 2000円

「会報」を送らせていただきます。

郵便振替

口座番号 00990 - 6 - 0203555

「無防備地域宣言」

銀行振込み 三井住友城東支店 普通

口座番号 1414208

「無防備地域宣言 梶田」